

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	ビジネス基礎	科目名	ビジネスピックス I					科目コード	T1640B2	
配当期	後期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	池田 大輔	履修グループ	1F(BI/BO)					授業方法	講義	
実務経験の内容	資格スクールにおいて、MS-Office (Word・Excel・PowerPoint・Access) を利用した顧客名簿の管理業務全般、及び教材の編集業務に携わった。その経験を活かし、ビジネスシーンに必要な知識やスキルを実践的に講義する。									
学習一般目標	日本経済・各種業界・個別企業の動向を幅広く知っておくことは、今後社会人として生きていくうえでとても大切なことです。2年次より本格的に始まる就職活動を、または更なる進学を見据えて、学生として知っておかねばならないビジネスに関する様々な知識を身につけることが必須となります。 新聞・専門誌などの記事に触れることによって、基本的なビジネス用語を理解するとともに、各種資格取得の一助となります。									
授業の概要および学習上の助言	毎週の講義において、ビジネスに関するタイムリーな情報を身につけるため、授業直前に新聞等で取り上げられた記事や、経済誌などからレジュメを作成、資料とします。ビジネス用語・漢字の読み書き・言葉の言い回しなどに注意してください。									
教科書および参考書	2026年度版ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」入門編 テキスト(毎日新聞出版) 図解でわかる時事重要テーマ100 2026-2027(日経HR)									
履修に必要な予備知識や技能	日々生活する中で、時事に関する様々な出来事について関心を払うよう心がけることが望ましい。									
使用機器	課題などをUNIPAに提出できる端末が必要です。									
使用ソフト	特になし									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2/5	ビジネスに関する様々な出来事について関心を持つことができる								
	1/2	新聞記事・経済専門誌を抵抗なく読むことができる								
	1/3/5	ビジネス専門用語の意味が分かるようになる								
	1/2/5	経済・社会・企業の動向をつかむことができる								
	1/2/5	就職活動・進学・各種検定試験受験にあたっての知識の習得につなげることができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	20	5	5					30
		2.思考・判断	20	10	10					40
		3.態度							10	10
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
総合評価割合	40	15	15				30	100		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	定期試験期間中に筆記試験を実施する。
小テスト	不定期にビジネス用語および新聞記事に記載された漢字等の読み書きについてミニテストを行う
レポート	新聞記事・雑誌の内容について、ポイントを整理するといった形での課題をあたえる
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業に自ら進んで積極的に参加する姿勢を重視する あらゆる出来事に関心を持って接しているか

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第2回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第3回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第4回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第5回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第6回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第7回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第8回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第9回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第10回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第11回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第12回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第13回	① 時事記事 ② ニュース検定	講義・演習・課題	授業資料の復習
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:5期(11/1～ 11/15)	別途指示

第15回

課題解決型授業2

遠隔授業
実施時期:7期(12/1~
12/15)

別途指示